

1 教育目標（目指す児童像含む）

- (1) 「人間尊重」の精神を基盤とし、**豊かな心の陶冶、自主性と創造性の伸長、体力・気力の充実**を図り、心身ともに健康でたくましく生きる創造的実践力をもつ子供の育成を図る。
- (2) 具体目標（目指す子供像）
- | | |
|---------------|----------------|
| ○思いやりのある心豊かな子 | ○進んで学び創意工夫する子 |
| ○元気で明るくがんばる子 | ○きまりを守り責任を果たす子 |
- 【合言葉】 元気なあいさつ（やる気） だれにも親切（思いやり） きれいな陽東（根気）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

〔学校経営のテーマ〕 「**楽しく、心豊かで、魅力ある学校づくり**」

学校は、子供たちが安心して学び合い、友達や教職員との関わりの中で伸びていける場である。また、教職員にとっては、その専門性を発揮しながら協働し、同僚性を培っていこうとする場であるという観点から本テーマを設定した。具体的には、どの子にも、どの職員にも居場所があり、一人一人のよさや可能性を互いの関わりの中で伸ばしていこうとする学校であり、保護者・地域との関わりを大切にして、信頼と協力で結ばれた学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) **組織的に機能する学校**
- ・学校が組織的に機能するよう、「学校マネジメントシステム」や「教職員評価制度」等を活用し、様々な立場からの経営参画意識を高めるとともに、教職員それぞれの個性や能力を発揮した職務が遂行されるようにすることで学校力の一層の向上を図る。
 - ・「子供の健康・安全の充実はすべての教育活動に優先する。」ということを第一に考え、安全な学校環境の整備に努めるとともに、食物アレルギーや感染症等への確実な対応を徹底する。
 - ・特別支援教育の考え方や方法を生かし、個に応じた支援ができるように努める。
- (2) **知・徳・体の調和のとれた「成長し続けるための基盤を培う」教育の実践**
- ・基礎・基本を確実に習得させ、それらを活用する力を育成するとともに、目標をもち、自ら学ぶ意欲を育む。
 - ・全ての学習を支える情報活用能力を身に付けるためのツールとして、1人1台端末を効果的に活用するとともに、デジタルシティンシップ教育を推進する。
 - ・心の教育の充実により、自信や自己有用感、たくましさ、規範意識、思いやりなど、豊かな心を育む。
 - ・生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。
- 地域学校園の教育ビジョンを踏まえ、小中一貫教育の推進に努める。
- (3) **教職員の資質・能力の向上**
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、指導力・授業力の向上を図る。
 - ・一人一人の学級経営力を高めるとともに、学年内の連携を図った指導を工夫する。
 - ・児童が「個別最適な学び」を進められるよう、学習内容の確実な定着を図る観点や、その理解を深め広げる学習を充実させる観点からカリキュラム・マネジメントの充実・強化を進める。
- (4) **○家庭・地域・社会と連携した社会に開かれた教育課程の実現**
- ・学校マネジメントシステムの公開や教育活動の広報を行うとともに、地域協議会や学校ボランティアとの連携を図る双方向型の活動の一層の充実を図る。
 - ・保護者、地域、社会とのかかわりを重視し、体験活動の充実等を図る。
- (5) **「働きがい」と「働きやすさ」を両立する働き方の推進**
- ・校務・事務の効率化と適正化のため、個々の業務の改善やICTの活用を推進する。
 - ・高い同僚性のもと、児童指導や学習指導の工夫改善が職員間で共有できるように努める。
 - ・教職員を目指すボランティアなどを積極的に受け入れ、魅力を体感してもらう。

〔陽東地域学校園教育ビジョン〕

地域教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、
確かな学力の定着を図り、心豊かでたくましく生きる子供の育成

4 教育課程編成の方針

本校においては、改訂された学習指導要領及び上述した学校経営目標、理念、具体策を具現化するために、下記のような方針をもとに教育課程を編成し実施する。

- (1) 教科等横断的な視点を踏まえ、各教科等の関連を年間指導計画に位置付けるなどしながら、教育内容や時間の適切な配分に努める。
- (2) 実施に当たっては随時その状況を評価し、児童の実態や社会的な状況等に合わせて改善を図ることを繰り返すものとする。
- (3) 校内外の人的、物的資源や体制を最大限に活用し、児童への教育効果を高める内容とする。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
・「楽しく、心豊かで、魅力ある学校づくり」
- (2) 学習指導
・「自ら学ぶ意欲を育み、基礎・基本と活用する力を高める学習指導の充実」
- (3) 児童生徒指導
○「豊かな心を持ち、自ら考え、適切な判断と行動ができる児童・生徒の育成」
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）
・「生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成」

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、進んで学習に取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 基本的な学習態度・技能を身に付けさせるために、教師間での共通理解を図るとともに、児童に「学習の約束」を年度初めや学期初めに数回周知し指導に当たる。 ② 児童の考えを引き出し深める発問や板書を工夫し、自分の考えをもって学び合える学習活動を重視する。 ③ 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業研究会や職員研修を実施し、指導力の向上に努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 学級経営の充実とともに、登校班での登校や縦割り班での休み時間の共遊、特別支援学級との交流等を充実させ、相手の立場を考えて思いやる心を育てる。 ② 体験と関連を図った道徳科の授業を通して、生命や人権を尊重する心や、人を思いやる心などを涵養する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。 ② 各教科の授業や各種検定等において、児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに、目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。 ③ 道徳の授業において、目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに、実践に向けた意欲を高める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 児童が自分の健康に関心をもち、自ら健康に気を付けて生活できるよう、体育、学級活動等の教科を中心とし、児童会活動や学校行事と関連させながら、運動・保健指導、及び日常生活指導を行う。 ② 普段の給食指導とともに「お弁当の日」を親子で食事を考える機会として、児童の食への関心を高めて望ましい食習慣の形成を図る。 ③ 自らの命を守る行動力を育成するため、日常における安全指導を充実するとともに、交通安全教室、避難訓練等を計画的に実施する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、自分の良さや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、夢や目標の実現に向けて粘り強く取り組めるような場を意図的に設ける。 ② 道徳科の授業や特別活動において「個性の伸長」や「集団生活の充実」について考える学習を充実させる。 ③ キャリアパスポートや振り返りのワークシートを活用し、自分のよさや成長を実感できるようにする。教職員や保護者がコメントを書くことで価値付けを図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケートの「私は外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 外国語活動（英語）を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ② ALTとの密な連携を行うとともに、外国語活動（英語）に関する校内研修などを実施し、教師の指導力や英語力の向上を図る。 ③ 授業における活動以外の場面でも英語でのコミュニケーションや指示を取り入れ、児童が「英語でのやり取りができた」と自覚して自己肯定感を高められるような声掛けをしていく。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業において、教科書や副読本、映像資料等を活用したり、学習内容に関連させたりしながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。 ② 校外学習等を活用して、地域や市への体験的な活動を通して理解を深める。 ③ 教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物、LRT等について理解を深めるよう努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

2ー(2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 児童が、デジタル機器に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にデジタル機器を活用する。 ② 各学年の授業内容との関連に配慮した教育図書を充実させ、学校図書館の環境整備に努める。 ③ 定期的な読み聞かせや読書の時間の設定などを通して、児童の読書意欲を喚起する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
2ー(3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は『持続可能な社会』について、関心をもっている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 総合的な学習の時間における環境教育等を通して、体験活動を効果的に取り入れ環境問題への関心を高め、環境と調和しながら生きる意識や態度を育成する。 ② 児童にとって身近な環境課題の解決に向け、委員会活動等で主体的な活動を支援する。 ③ 過去の災害の具体事例などから学ぶ機会を設け、防災教育を充実する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
3ー(1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A 10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 特別支援教育コーディネーターや児童指導主任を中心に、全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。 ② ユニバーサルデザインを意識しながら、学校全体や教室環境を整備することで、どの児童にとっても過ごしやすい校舎、分かりやすい授業となるよう努める。 ③ 外国人児童の指導に関して、保護者や日本語指導者との連携を密にし、学校適応への支援の充実を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
3ー(2) いじめ・不 登校対策の 充実	A 11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 学級活動、道徳科の授業等を通して、人を思いやることや人権を尊重することの大切さを指導するとともに、日常生活の中でいじめが絶対に許されない行為であることを繰り返して指導する。 ② 児童会が主体となった、「いじめゼロ強調月間」の実施等を通して、いじめの起こらない環境づくりに努める。 また「いじめゼロ強調月間」での学校の取組をホームページ等で保護者及び地域住民に周知する。 ③ いじめの早期発見、早期対応のため、いじめアンケートを年間4回行う。(5・9・12・2月) ④ いじめの早期発見や的確な児童理解のため、5、11月に全児童を対象に「教育相談」を行う。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 学級活動や学校行事等の特別活動の充実を図り、一人一人が活躍する場を設定する。 ② 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。【A5①再掲】 ③ 教育相談、アンケート、Q-U調査等の結果を活用し、不適応傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童に係る情報の共有を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
3－(3) 外国人児童生徒等への 適応支援の 充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 児童が明るく充実した学校生活が送れるよう、諸活動をバランスよく配置する。 ② 特別活動において、児童の主体的な活動を重視するとともに、縦割り班活動を可能な範囲で実施する。 ③ 授業や様々な活動を通して、教職員が児童のよさや努力を認め励ます指導を行う。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
3－(4) 多様な教育的 ニーズへの 対応の強化				
4－(1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 児童の意欲向上を意識した分かる授業を目指し、授業研究会を行ったり指導法について研修を行ったりする。 ② 個に応じた指導の充実を図るため、児童の実態を把握し、学習内容に応じて少人数指導やT Tによる指導等を取り入れるなど、学習形態を工夫する。 ③ 1人1台端末等のICTを活用し、個別最適な学びの充実を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
4－(2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 学校図書館司書、かがやきルーム指導員、ALT、SC、ICT支援員等の専門性を有する学校スタッフを含めた全ての教職員で、コミュニケーションを図りながら連絡調整を行い、業務の推進に努める。 ② 学校の諸課題への対応や、学校行事の準備・運営等に、教職員が相互に助け合いながら「チーム陽東」として取り組むよう努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
4－(3) 学校におけ る働き方改 革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 教職員の業務の負担軽減に向けて、学校支援ボランティア等の効果的な活用をより一層図る。 ② 行事の精選を含め、業務のスリム化に向けた取組を行っていく。 ③ 教職員一人一人が、勤務時間を意識し、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 学校園のテーマを基に、分科会・教科部会等で重点化を図り、小中一貫教育の推進に協働体制で取り組む。 ② 学年だよりや学校だより、ホームページ等で、取組の状況を紹介するなど、家庭や地域への広報活動を積極的に行う。 ③ 地域学校園事務室や、各種分科会等の活動を通して、学校園内の相互支援体制を充実する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 様々な企業や施設を訪問したり、出前授業を行ったりするとともに、地域の各種団体や宇都宮大学、学生ボランティアなどとの連携・協力による活動をさらに充実する。 ② 児童が人とかかわりながら、体験的に学ぶ機会を充実させるため、地域コーディネーターを軸に、保護者や学校支援、学習支援ボランティア等の協力を得た授業を展開する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 毎月チェック項目に基づいて、各教室、特別教室、廊下、体育館等を、安全点検を実施し、危険箇所については、迅速な改善や修繕に努める。 ② 危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入の不測の事態の備えを万全にする。 ③ 熱中症予防対策、感染症蔓延予防対策など、時期に応じた保健指導管理に努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、授業（授業準備も含む）や業務に、デジタルを積極的に活用している」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 情報教育主任を中心に、機器の操作を得意とする教職員が積極的にICT機器の活用を推進し、その有効性を教職員間に広めていく。 ② ICT機器の活用について、ICT支援員と連携して研修等を計画的に行うなど、学ぶ機会を設けていく。 ③ ICT支援員との連携を図り、授業準備を計画的・組織的に行う。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 登校班長会議や一斉下校での日常的なあいさつ指導とともに、放送や広報、さらに計画集会委員会による「あいさつ運動」を実施する。生活目標の中にあいさつに関する目標を頻繁に入れて、意識を高める。 ② 地域学校園で設定した「あいさつの日」を設け、実施するとともに、保護者への啓発活動を行い、学校・家庭・地域が連携してあいさつへの意識を高めていく。 ③ 時と場に応じたあいさつについて、具体的な場面を想定して指導する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、きまりやマナーを守って生活をしている」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 規範意識や社会生活上のルールを尊重する態度を育てるため、「陽東小の児童の一日」を各教室に掲示し日常的に指導を行う。 ② 基本的な生活習慣を身につけさせるため、隔週で生活目標を設定し、児童指導主任を中心に全職員で指導を行う。 ③ 「陽東小の合言葉」をもとに、あいことば週間や自校表彰（陽東ピカイチ賞）を実施するなど、児童が相互に認め合う場や教師が称賛する機会を多く設け、意識付けしながら実践意欲を高める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 3 児童は、家庭においても自主的な学習や読書の習慣が身に付いている。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、家庭でも進んで読書をしたり家庭学習に取り組んだりしている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 家庭学習の習慣化を図るため、家庭学習の時間や内容、方法等に関するガイドラインを全職員で共有し、指導にあたる。 ② 家庭学習の記録を活用し、保護者と教師が連携して、児童を認め励まして継続できるようにする。 ③ 読書の記録を活用したり、各学年の必読図書を家庭に知らせたりする。	B	

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 4 学校はあいことば「元気なあいさつ」【やり気】、「だれにも親切」【思いやり】、「きれいな陽東」【根気】を具現化する活動に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、毎日の生活やあいことば週間などで「元気なあいさつ」「だれにも親切」「きれいな陽東」の実現に向けて進んで活動に取り組んでいる。」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 計画集会委員を中心としたあいことば週間「あいさつ運動」を行い、校内あいさつの活性化を図る。また、校外でのあいさつの状況を把握し、学級、登校班長会議、一斉下校などの機会を捉えて指導する。 ② 親切委員会によるあいことば週間「親切の花」の掲示を行い、全校で思いやりへの意識を高める。また、各クラスで友達の親切なところやすごいところをカードに書く「ありがとう・すごいねカード」に取り組ませる。 ③ 幼稚園・保育園との交流、縦割り班活動、地域の方との交流等、児童の主体的な活動を推進する。また、特別支援学級との交流及び共同学習や縦割り班活動を推進する。 ④ 道徳の授業やいじめゼロ集会などを充実させ、人権週間における啓発を行う。 ⑤ 環境美化委員会によるあいことば週間「清掃がんばり週間」、ふれあい班によるプランターの管理や栽培活動、除草活動、全校落ち葉清掃活動、PTA 奉仕作業、縦割り班清掃を推進し、環境・美化の意識を高める。 ⑥ 校内での取組を、学校だよりやホームページなどに掲載することにより保護者や地域の方にも周知し、協力を得る。	B 【達成状況】 【次年度の方針】
-------------------------------	--	--	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

